

# つなぐ

謹賀新年

今年亥年です。イノシシと言えど勢いのあるイメージですが、意外と警戒心が強く、見慣れないものは避ける習性があります。

イノシシだけでなく私も、物事を避けたいことがあります。「新しい事を始めるのはいいことだ」とはわかっていても、本音としては「面倒なことが無ければ」という思いが頭にチラつきまします。いつもそこを堪えようと葛藤しています。

下記で、ロクメイコーヒーの井田さんが「現状維持は衰退」とおっしゃっていますが、これを言葉にし、実行するエネルギーを見習いたいと思います。

今年天皇が譲位され、元号も変わります。世間の変化を追い風に、今年猪突猛進する一年にしたいです。



館長 清原 弘章

平成 31 年  
新春号  
(通算第 16 号)

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団

富雄公民館

奈良市鳥見町二丁目9番地

0742(43)5386

〒631-0065



花や果実を想像させる酸味と爽やかさ。すっきりした口当たり。これがスペシャルティコーヒーの特徴です。

生産から保管までの全工程で品質管理が徹底されるスペシャルティ

コーヒー。今年の夏に焙煎技術を競う全国大会で優勝した

井田浩司さんは、このコーヒーを扱う自家焙煎専門店の

オーナーです。妻の章世さんと開店したロクメイコー

ヒー(三碓七丁目)でお話をうかがいました。

今やコンビニでも挽きたてコーヒーが飲める時代。あ

えて高級志向を貫く理由とは。

「どうして自分はコーヒ

ーを売るのがかと、考えまし

た。」井田さんは、昭和四九年創業の喫茶店ロココ(西御門町)二代目社

長。店は常連客に愛され繁盛していたものの、焙煎士やバリスタを生涯の仕事とは思えない、従業員の離職



## 幸せな飲み物

## ~スペシャルティコーヒー~

に悩んでいました。「仕事とは誰かの幸せのためじゃないか。お客様だけでなく、スタッフも。そしてコーヒー生産者も。」

世界の大手五社が九割を占める焙煎市場。中南米やアフリカ

の小規模生産者が作る生豆は、安価で買

い叩かれることも多いそうです。労働に見合った報酬を得られず、努力しても貧困から抜け出せない生産地の人々。「上質な

生豆を適正な価格で買うことで生産者の暮らしは安定する。その豆をベストな焙煎

で提供すれば、お客様も喜ぶ。私たちも誇りを持って仕事を続けられる。」井田さん

が出した答えは、自分のコーヒーに関わる全ての人が幸せになる持続可能なシステム。現代の「三方よし」(売

り手と買い手の満足に加え社会貢献もできる商売を良しとする近江商人の心得)で

す。

いい生豆を求めて昨年九月から訪れた中南米は、ブラジルを始め

4か国。「信頼関係の蓄積が大切。」と現地へ足を運びました。取引開始後も、S

NSでスタッフや消費者の声を生産者へ届けます。この秋にはエルサルバドル

の農園主の方が来日。スタッフと生産者のリアルな交流も、お互いのモチベーション向上に欠かせません。「スペシャルティコーヒーを文化にしたい。そして、幸せの輪を広げたい。」

「フロム・シード・トゥ・カップ(種からカップまで)」とは、スペシャルティ

コーヒーを扱う焙煎士の合言葉。

生産からお客様の口に運ばれるまで、全ての工程に責任

を持つということ。井田さんは、その一端を担う意識を

スタッフ全員に持つてもらいたいと言います。誰かを幸せにする一杯に、誇りを持つ

て仕事をする。日本一の称号を得たことで、その気持ちは確かな自信へと変わりました。次に目指すのは、スペシャルティ

コーヒーの消費国拡大と、中規模生産者とも手を繋げる仕入れ力の向上。「現状維持は衰退

です。」そうキツパリと言いつける井田さん。

「でも、お店には気楽に入ってきてほしい。焙煎していると、何してるの?と遠巻きに

見る方もいて。(笑)」確かに。ガラス越しに見えるエプロン姿は、気になる光景で

す。「コーヒーのことなら何でも答えます。遠慮なく声をかけて。」ワンコインから楽し

める一杯の贅沢。地元で愛される憩いの場

になることは、間違いないさそうです。(泉)



## 今日から美味しい夫婦時間

12月1日・15日の2回、昨年講師をしていただいた坪井美佐さんに、今度はご夫妻を講師としてお迎えしました。



今回は脳科学から見る男女の違いから夫婦の関係づくりを考えた  
り、家事をテーマに、包丁  
いらすの3分  
料理を、夫が  
妻のために作  
る実習などを  
行いました。

## こんなことがありました

### とみお☆カンガルーくらぶ

平成30年度は5月から始まり、12月で全8回が終了。子どもたちの運動遊びの他、同室託児でアロマ教室など、ママのための回もあり、好評をいただきました。

ほとんどの子たちが、4月からそれぞれの幼稚園に通います。カンガルーくらぶでの1年が、子ども



もたちやママ  
たちにとつ  
て、良い経験  
になったこと  
を折り、また  
来年度も行って  
いきたいと思  
います。

今回は「今日から美味しい夫婦時間」の参加者「りゅうちゃん」さんから、講座の感想を伺いました。

— ご受講ありがとうございます。今回はご夫婦で参加いただくことになっていましたが、「受講しよう」とおっしゃったのは、夫婦どちらからですか？

り 奥さんです。

— 奥様からですか。りゅうちゃん自身は何故受講しようと思われたのですか？

り どんな話をされるのか少し興味があったので。まあ奥さんの誘いを断れないのもありましたが(笑)

— なるほど(笑) ではどんな講座だと想像しておられましたか？

り 正直、受講前は何も考えていませんでした。実際に受講してみるとわかりやすく、「なるほどな」と思うことが多々ありました。

— ありがとうございます。ところで、今回は料理の実習もありましたが、お料理は普段からしておられましたか？

り 奥さんが体調を崩している時には簡単な料理はしていました。基本料理は出来ませぬ。今回の料理実習を受けて、簡単な料理のレパートリーが増えて良かったと思います。

— それは良かったです。それで、料理について奥様はなんと？

り もちろん「美味しい」といつてくれました。たよ。

— そうですか！作っているときにも、愛情たっぷり込めている感じでしたからね(笑)

り (笑)

— それでは、受講後にご自身や奥様が「変わったな」と思うところはありますか？

り 自分としては普段から相手に対して「ああしなければ、こうしなければ」という思いは、何となくありました。受講してみたら、それがハッキリしたものになりましたね。

り なるほど、やはり愛情たっぷりですね(笑)では最後に、講座中に印象的だったことはありますか？

り 講座中はお互いのニックネームや下の名前と呼ぶようにしていたことが印象的でした。また講師夫婦が上手に話されるので、他のご夫婦もみなさんよく話され、楽しく良い雰囲気でした。みなさん何だかんだ言いながら、根本は仲が良いんだなと思いました。

— ありがとうございます。これからもご夫婦の時間を楽しんでください。ありがとうございました。



## リサイクル回収の一時見合わせ

現在、富雄公民館にエレベーターを設置する工事のため、リサイクル回収基地が使用できなくなっております。そのため、工事期間が終了するまで、リサイクルの回収を見合わせております。

期間中はご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほど、よろしくお願いたします。



## 編集後記

今号は年を跨いでの作成になりました。みなさん、お正月はどのような過ごされましたか？

毎年正月は、私の実家と妻の実家にそれぞれ挨拶に伺うのですが、みな子どもたちが増え、特に妻の祖父母のところでは、4歳以下の子どものみで6人も集まりてんやわんや。大変でしたが、大人はみんな頬が緩みっぱなしでした。

もちろん、子どもたちへのお気持ち折りたたまれた小さな袋は大切に預かっています。